

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する交付金対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化した施設の補修や電気防食工等を行うことにより施設の延命化や安全が向上した。 ・ 埋没した航路の浚渫を行った結果、航行する船舶の安全が向上した。 ・ 防波堤の整備することにより、小型船の係留及び航行の安全性を確保することができた。 ・ 防舷材を取り替える、利用形態にあった施設へ改良することができた。 ・ 維持管理計画を策定することにより、施設の効率的な維持管理を図ることが可能となった。 ・ 不要施設の利用転換の為の調査及び一部不要施設撤去することができた。 			
II 定量的指標の達成状況	指標① 老朽化した施設の施設改良率	最終目標値	100 %	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成に必要な事業費が確保できず、一部事業を次期計画にて継続して実施することとしたため。
		最終実績値	45 %		
	指標② 航路を船舶が安全に航行できるための施設改良率	最終目標値	38 %	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成に必要な事業費が確保できず、次期計画にて継続して実施することとしたため。
		最終実績値	33 %		
	指標③ 小型船の係留及び航行の安全性を確保するための施設改良率	最終目標値	100 %	目標値と実績値に差が出た要因	近接する他事業との調整により、工程が遅れたため。
		最終実績値	20 %		
	指標④ 利用形態にあった施設改良率	最終目標値	100 %	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成に必要な事業費が確保できず、一部事業を次期計画にて継続して実施することとしたため。
		最終実績値	67 %		
	指標⑤ 維持管理計画策定率	最終目標値	100 %	目標値と実績値に差が出た要因	—
		最終実績値	100 %		
	指標⑥ 不要となった施設の利用転換率	最終目標値	100 %	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成に必要な事業費が確保できず、次期計画にて継続して実施することとしたため。
		最終実績値	0 %		
3. 今後の方針					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化した施設の改良を行い、港湾施設の長寿命化及び機能性・安全性の向上を図る。 ・ 県内港湾の施設整備を実施することで、物流機能の拡充・強化を図ることにより、港湾施設利用者の利便性の向上、住民の憩いの場などの魅力ある港湾空間を形成し、地域経済の活性化・地域振興を図る。 					